

ETHER/OPT CONV-SC/SR

ETHER/OPT CONV-SC/SR(3105「」,3106「」)

概要

ETHER/OPT CONV-SC/SR(3105「」, 3106「」)は、10BASE-T/100BASE-TXを二芯又は一芯の光ファイバケーブルを使用して延長する装置です。本装置はSNMPにより、装置警報等を監視制御装置(SNMPマネージャ)にて遠隔地から監視することが可能です。また、Webブラウザから各警報情報や設定情報を参照することも可能です。

外観



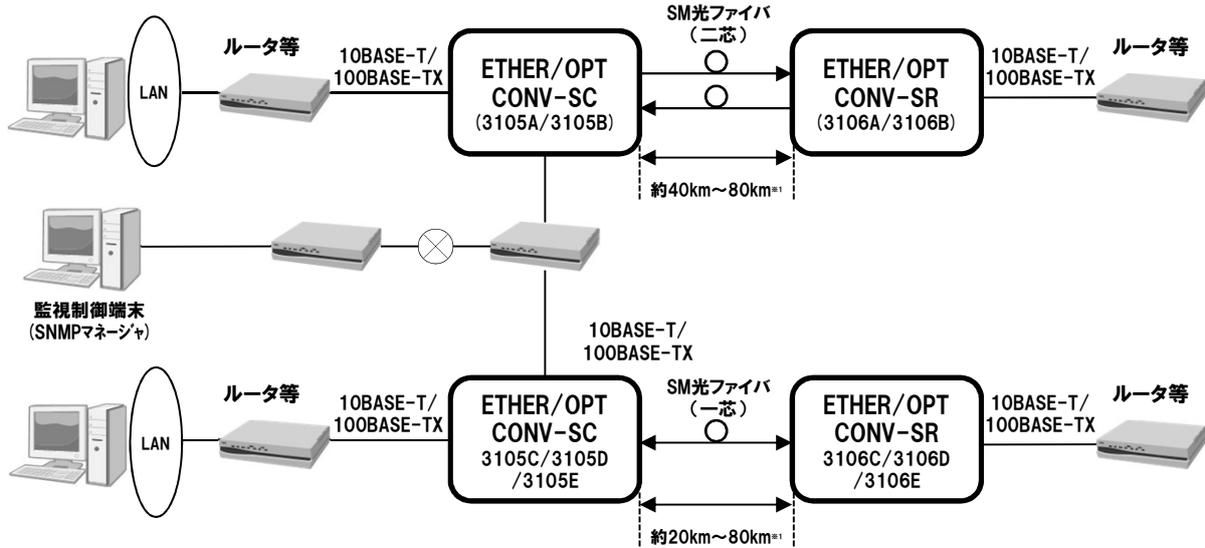
品名	形名	光伝送路側			イーサネット側 インタフェース	対向装置(形名)
		タイプ	伝送路距離*	波長		
ETHER/OPT CONV-SC	3105A	二芯	約80Km	1.55 μ m	10BASE-T 100BASE-TX	3106A
	3105B		約40Km	1.31 μ m		3106B
	3105C	一芯	約40Km	送信: 1.55 μ m 受信: 1.31 μ m		3106C
	3105D		約20Km	送信: 1.57 μ m 受信: 1.51 μ m		3106D
	3105E		約80Km	送信: 1.57 μ m 受信: 1.51 μ m		3106E
ETHER/OPT CONV-SR	3106A	二芯	約80Km	1.55 μ m		3105A
	3106B		約40Km	1.31 μ m		3105B
	3106C	一芯	約40Km	送信: 1.31 μ m 受信: 1.55 μ m		3105C
	3106D		約20Km	送信: 1.51 μ m 受信: 1.57 μ m		3105D
	3106E		約80Km	送信: 1.51 μ m 受信: 1.57 μ m		3105E

※:伝送距離は光ファイバロスを1.31 μ m:0.5dB/km、1.55 μ m:0.25dB/km(スプライスロス含む)と仮定した場合の計算値です。

特長

- 10BASE-T/100BASE-TXを光信号に変換し、二芯又は一芯の光ファイバ(SM)で約20km~80kmまで延長することができます。
- イーサネット側は10M/100Mの速度を選択でき、通信方式も全二重/半二重が選択できます。通信速度・方式の設定は、オートネゴシエーションもしくは固定設定が選択可能です。また、通信方式として半二重を選択したときでも本装置はブリッジによる転送方式のため20km以上(最大80km)の転送が可能です。
- 接続先がオートネゴシエーション対応・未対応に関わらず接続することができます。また、オートネゴシエーション対応装置と対向する場合でも通信速度/通信方式の設定が可能です。
- イーサネット側はストア・アンド・フォワード方式により、不要パケットを廃棄してネットワークの効率を向上させます。
- MACアドレス学習は行いません。
- ポーズフレームを透過します。
- 最大転送パケットは1916ByteでVLAN(IEEE802.1Q)対応のフレームも転送できます。
- 装置故障や光入力力断などが発生した場合、警報ランプの点灯と警報接点を出力します。
- 対向装置のイーサネットリンク未確立および、光伝送路異常で、自局装置のイーサネット側光出力を停止するリンク状態転送機能があります。
- 遠隔監視端末(SNMPマネージャ)を使用して、遠隔地から警報の有無および状態を監視することができます。
- webブラウザから各種警報情報や設定情報を参照することが可能です。
- 装置前面のスイッチまたはwebブラウザからの操作によって回線状態を確認することができます。
- SRタイプは、外部からの電源供給が断となった場合に、SCタイプに対し電源断情報を発出します。
- 交流/直流両タイプの電源に対応しているので、設置場所を選びません。
- 19インチシェルフ(19-10D)に3台実装することができます。
- オプションで、光ファイバの余長処理をおこなう光ファイバ余長処理金物(3031A)と背面コネクタやケーブルを保護する背面保護カバー(3045A)があります。

使用例



主な仕様

項目	仕様											
	ETHER/OPT CONV-SC					ETHER/OPT CONV-SR						
形名	3105A	3105B	3105C	3105D	3105E	3106A	3106B	3106C	3106D	3106E		
光伝送側 インタフェース	伝送距離 ^{※1}	約80km	約40km	約40km	約20km	約80km	約80km	約40km	約40km	約20km	約80km	
	伝送路	シングルモード光ファイバケーブルまたは、分散シフト光ファイバケーブル										
	物理インタフェース	LC型光コネクタ										
	光波長	1.55 μm	1.31 μm	送信: 1.55 μm 受信: 1.31 μm		送信: 1.57 μm 受信: 1.51 μm		1.55 μm	1.31 μm	送信: 1.31 μm 受信: 1.55 μm		送信: 1.51 μm 受信: 1.57 μm
	光出力パワー	0dBm~ +5dBm	0dBm~ +5dBm	-5dBm ~0dBm	-9dBm~ -3dBm	-5dBm~ +2dBm	0dBm~ +5dBm	0dBm~ +5dBm	-5dBm~ 0dBm	-9dBm~ -3dBm	-5dBm~ +2dBm	
	受光レベル	-30dBm~ -8dBm	-30dBm~ -8dBm	-31dBm~ -3dBm	-30dBm~ -3dBm	-31dBm~ 0dBm	-30dBm~ -8dBm	-30dBm~ -8dBm	-31dBm~ -3dBm	-30dBm~ -3dBm	-31dBm~ 0dBm	
回線数	1回線											
イーサネット側 インタフェース	インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3 (10M) 及びIEEE802.3u (100M) 準拠)										
	速度	10Mbit/s、100Mbit/s (全二重、半二重)										
	接続ケーブル 物理インタフェース	STP、UTP (カテゴリ5) RJ-45コネクタ (シールド付き)										
回線数	1回線											
ランプ表示	POWER (緑)	電源入力時に点灯										
	EQP (赤)	装置故障時に点灯										
	REC (赤)	光出力断検出時に点灯										
	L-RMT (赤)	対向装置の光伝送路側入力異常時に点灯										
	R-INH (黄)	対向装置電源断の信号受信時に点灯										
	E-RMT (赤)	対向装置のイーサネット側リンク断時に点灯										
	LINK (緑)	イーサネット側リンク確立時に点灯										
	100M (緑)	100Mbit/s選択時に点灯										
	FULL (緑)	全二重選択時に点灯										
	LOOP (黄)	テスト実行時に点灯										
OK (緑)	テスト結果が正常な時に点灯											
監視インタフェース	接続インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX (オートネゴシエーション) (IEEE802.3 (10M) 及びIEEE802.3u (100M) 準拠)										
	プロトコル	SNMPv1 (RFC1157準拠)/HTTP/IPv4										
	監視数	監視: 7項目 (EQP/REC/LINKDOWN/L-RMT/E-RMT/R-INH/OK) 制御: 1項目 (TEST)										
物理インタフェース	ISO8877 (RJ-45) 8ピンモジュラコネクタ (MDI)											
警報出力 インタフェース	電気インタフェース	無電圧ループ接点または地気接点: 1接点										
	物理インタフェース	RJ11コネクタ										
使用電源	AC100V ±10% (50/60Hz) またはDC-24V/DC-48V/DC+27V (DC-21V~DC-53V, DC+24V~DC+30V)											
	消費電力	約10W										
質量	約2kg											
寸法	140(W) mm x 52(H) mm x 210(D) mm (但し、突起物は除く)											
環境条件	温度-10~50℃ (但し、低温起動は0℃以上とする)											
	湿度5~90% (但し、結露しないこと)											

※1: 伝送距離は光ファイバロスを1.31 μm: 0.5dB/km、1.55 μm: 0.25dB/km (スプライスロス含む) と仮定した場合の計算値です。

主な導入先

通信事業者、公共/公益事業者、官公庁